

月報 シオン山

2025年4月6日発行 (No415)

日本バプテストシオン山教会

☎803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

Tel (093) 561-0772 Fax (093) 561-0760 E-mail: bapshion@eagle.ocn.ne.jp

.....

【月間聖句】

わたしは世の終わりまで、あなたがたと共にいる。

(マタイによる福音書28章20節b)

「主にあって、共に歩みましょう」

庄司まり子

2025年3月13日、午前10時53分に老衰のため享年91歳で召天された大里克夫兄の前夜式、告別式がシオン山教会で司式を野中宏樹牧師、奏楽を大里恵美さんで持たれました。ご家族とご親族、勤務されていた西南女学院の同僚や同窓生、教会の方々と遠方からも参列されました。

大里克夫兄が2000年3月に33年間勤務された西南女学院での随想、祈り、奨励を集め発刊された『「感恩奉仕」—西南女学院のスピリットを見つめて—のおわりに』に次のように結ばれておりました。

『涙を持って種をまく者は、喜びの声をもって刈り取る。(詩篇 126・5)』

定年は終わりではなく人生の一つの節目である。命のある限り、主の僕として喜びを持って使いたい。

西南女学院の理事会、評議員会などの運営あたる方々、教員、教育補助員、事務労務職員、学生、後援会、何時も、祈り支えてくださった日本バプテストシオン山教会の歴代牧師はじめ信徒の方々、そして、何よりも、私たちを導き、支えてくださった神の大きな愛に感謝して結びの言葉とする。』

献花のときながれていたのは大里克夫兄の愛唱歌「ふるさと」の曲でした。久しぶりに聞いた私は懐かしい思いになり、また、考えさせられました。

ピアノで奏でられる「ふるさと」の曲を聞いたとき、遠くから帰郷して礼拝に

来られる方々、尋ねてこられる方々に思いをめぐらしました。「この会堂はふるさと」であり、また、「心のふるさと」なのでしょうと気づかされました。シオン山教会は大切な祈りの場所として私たちは礼拝を守り続けていくことが、証であり、福音を述べ伝えていくことだと思いました。

2025 年度は主が招いてくださった加藤英治牧師をお迎えし、私たちは喜びの中で歩みだすことができました。感謝です。嬉しいです。100 周年を迎えた私たちは、信仰の先輩方々が支え、築いてきたことを大切にしながら、次の 100 年に向かってイエス様と共に歩んでゆきたいと思います。

いかに美しいことか

山々を行き巡り、良い知らせを伝える者の足は、

彼は平和を告げ、恵みの良い知らせを伝え

救いを告げ

あなたの神は王となられた、と

シオンに向かって呼ばわる。

(イザヤ 52-7)